



第8回全国ホームホスピス合同研修会

〈暮らしの中で逝くこと〉 in 広島

2019年11月30日(土)

～12月1日(日)

□会場 広島国際会議場

広島市中区中島町1-5 (平和公園内)

TEL 082-242-7777

□参加費 5,000円

「いのち」 生ききる



11月30日(土) 〈12:30～ 受付開始〉

I部

13:00～14:10
〈基調講演 -1〉

豊かないのちの共鳴

誕生と死を超えて、共に生きる意味を問う

岡田 圭 (ニューヨーク訪問看護サービス終末期スピリチュアルケア
・プログラム・マネージャー)

14:10～15:00

日本人のためのハワイホームホスピス事情

三浦 佳代子 (Nagomi Foster Homes)

II部

15:10～17:20

〈シンポジウム〉暮らしの中で逝くこと

片山 壽 (片山医院院長) / 羽田 富美江 (鞆の浦さくらホーム代表)

市原 美穂 (全国ホームホスピス協会理事長)

コーディネーター 高橋 紘士 (東京通信大学教授 (財)高齢者住宅財団顧問)

18:30～

懇親会

会場 広島市文化交流会館

12月1日(日) 〈9:00～ 受付開始〉

9:30～10:30
〈教育講演 -1〉

医療に「生活の視点」を

迫井 正深 (厚生労働省 大臣官房審議官)

10:35～11:35
〈教育講演 -2〉

地域包括ケアシステムのまちづくり

山口 昇 (公立みつぎ総合病院名誉院長 相談役顧問)

市民公開講演会 〈12:00～ 受付開始〉

12:30～13:00

「ホームホスピス」ってご存じですか

市原 美穂 (全国ホームホスピス協会理事長)

13:00～15:30

〈鼎談〉いのちについて考える時間

長尾 和宏 (長尾クリニック院長 日本尊厳死協会副理事長) / 板井 孝壺郎 (宮崎大学医学部附属病院

中央診療部門 臨床倫理部部長) / 宇都宮 宏子 (在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス代表)

主催 一般社団法人 全国ホームホスピス協会

運営 (一社) 全国ホームホスピス協会事務局 / 西日本支部

第8回全国ホームホスピス合同研修会実行委員会事務局 ホームホスピスひなたのいえ

お問合せ TEL 0985-65-8087 / FAX 0985-53-6054 <https://www.homehospice-jp.org>

Supported by 日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

講師、パネリスト紹介



Okada Kei

岡田 圭 終末期スピリチュアルケア・プログラム・マネージャー。認定チャプレン
金沢市育ち。上智大学卒業後渡米、美大卒業後、舞台活動を経て、93年、神学校卒業。チャプレンの訓練を受ける。コーネル大学医療センター小児科「エイズの子供たちのためのプログラム」クリニック、ハウジングワークス（HIVキャリアのホームレス療養施設）勤務。2006年よりNY訪問看護サービス、ホスピス緩和ケアにて勤務。



Yamaguchi Noboru

山口 昇 公立みつぎ総合病院名誉院長
長崎市生れ。長崎大卒。1966年、公立みつぎ病院院長として着任。在宅に向く出前医療を始め、74年には寝たきりゼロ作戦。84年に町の保健・福祉部門を病院に統合・吸収、国保健康管理センターを開設。さらに97年には、訪問看護ST、ホームヘルパーST等と統合し、御調保健福祉センターを合築。30年前から地域包括ケアシステムを実践する。



Miura Kayoko

三浦 佳代子 Nagomi Foster Homes
広島県三原市出身。ハワイ大学心理学部卒業後、カピオラニ・コミュニティ大学看護学部でResister Nurse資格取得。ホスピスのナース・ケースマネージャーはじめ、様々なホスピスでの活動を行う。患者が安心して最後を迎えられる施設を求め、自宅にて支払い能力にかかわらず患者を受け入れ、看取るNPOを設立。



Sakoi Masami

迫井 正深 厚生労働省大臣官房審議官
1989年、東大医学部卒業後、東大病院、虎の門病院等での外科臨床を経て、92年に厚生省入省。95-97年、米国ハーバード大公衆衛生大学院留学（公衆衛生修士取得）。2008年～広島県健康福祉局長、2010年に本省復帰、保険局企画官、老健局老人保健課長、医政局地域医療計画課長、保険局医療課長を経て2018年7月から現職。



Katayama Hisashi

片山 壽 片山医院院長
1974年、東京医科大学卒。86年より医師会理事として高齢者事業部門を担当して訪問看護、老健施設などを開設。99年に独自のケアカンファレンスを開発して地域に標準装備。2000年より12年間医師会会長を務め、社協や連民児協、公衛協と連携業務を展開。end-of-life-careのシステム化。会長退任後、開業医を務める一方尾道市医師会地域医療システム研究所所長。



Nagao Kazuhiro

長尾 和宏 長尾クリニック 院長
東京医大卒業後大阪大第二内科入局。1995年、尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで“人を診る”総合診療を目指す。「平穩死・10の条件」「薬のやめどき」「痛くない死に方」はベストセラー。「男の孤独死」他著書多数。日本慢性期医療協会理事、日本尊厳死協会副理事長、日本ホスピス在宅ケア研究会理事。



Hada Tomie

羽田 富美江 鞆の浦さくらホーム代表
舅の介護を契機に理学療法士として20年勤めた福山市の病院を退職。古い港町・鞆で義父の在宅介護を通し、地域とのつながり、意識変革の必要を感じ、2003年、古民家を利用したグループホーム鞆の浦さくらホームを開設。現在、町内で小規模多機能型ホーム、重症心身障害児の多機能ホーム、放課後等デイサービス、駄菓子屋などを展開。



Itai Kouichirou

板井 孝吉郎 宮崎大学医学部大学院教授、同医学部附属病院中央診療部門臨床倫理部部長
1997年 京都大学大学院文学研究科博士課程（倫理学）終了後、京都大学研修員、京都府立医科大学非常勤講師などを経て現在に至る。日本医学哲学・倫理学会九州支部長、日本生命倫理学会評議員など。



Ichihara Miho

市原 美穂 全国ホームホスピス協会理事
2004年、宮崎市内の空家を利用して、認知症や末期がんなど困難な条件が重なり行き場を失った人、5、6人がとも暮らしをするホームホスピスを開設。地域の中で最後まで暮らし、人の尊厳をとり戻すケアの実績と民家（空家）を利用し、地域とのつながりを大切にす理念に共感し、現在、全国各地でホームホスピスが展開している。



Utsunomiya Hiroko

宇都宮 宏子 在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス代表
1980年、京都大学医療技術短期大学卒業。訪問看護、病院での退院支援看護師を経て、2012年独立起業。全国で在宅移行支援、医療介護連携等の研修・アドバイザーとして活動。“京都ACP研究会”共同代表 日本ホスピス・在宅ケア研究会理事。

FAX 0985-53-6054 参加申込書（申込み 8月31日～11月10日）

正会員

準会員

賛助会員

一般

お名前	住所 〒	(○をつけてください) 自宅 / 勤務先
所属	電話（携帯）/ FAX	
11月30日 懇親会（5,500円）	12月1日 お弁当（1,000円 ○をつけてください）	参加 / 不参加 要 / 不要

上記にご記入の上、FAXして下さい。e-mailでお申込みの方は、上記の要項をご記入の上、お申し込みください。10月1日以降に、事務局より振り込み口座などお知らせします。ホームページからもお申し込みいただけます。なお勝手ながら、参加希望者数が定員になり次第、締め切らせていただきます。

〈お問合せ先〉

一般社団法人 全国ホームホスピス協会事務局 〒880-0913 宮崎市恒久 2-19-6

TEL 0985-65-8087（月～金/10:00-17:00） FAX 0985-53-6054

e-mail info@homehospice-jp.org / URL https://www.homehospice-jp.org